

2020年9月2日

リニューアルした「楽」を臨時列車として運転します ～ご乗車に必要な「臨時列車『楽』利用券」を発売～

近鉄では、1990年の運転開始以降、30年ぶりにリニューアルした団体専用列車「楽」（4両1編成のみ）を、個人のお客さまにもご利用いただける臨時列車として、9月19日（土）～27日（日）の間の土・休日（6日間）に大阪上本町～五十鈴川間で1日1往復運転します。

ご乗車に必要な「臨時列車『楽』利用券」（各日往路・復路別）は、9月8日（火）5時30分から発売を開始します。

なお、今回の臨時列車は、お客さま同士の密接を避け、快適な車内をさらにゆったりと過ごしていただくため、座席定員164人のところ、各列車70人分の限定発売とします。

新しい「楽」の華やかな空間で、大阪上本町～五十鈴川間の列車の旅をゆったりとお楽しみいただきたいと考えています。

詳細は別紙のとおりです。



臨時列車として運転する団体専用列車「楽」

〈参考〉

団体専用列車「楽」の概要

当社路線のほとんどを運行することから、デザインコンセプトを「地のにぎわい」とし、大阪、奈良、京都、伊勢志摩、名古屋の沿線5地域の魅力を日本の伝統色と和柄により、外装や座席など車両全体に表現しています。

車両は、4両編成で全体の定員は164人です。



「楽（らく）」新ロゴマーク

◎リニューアルのポイント

- 外観は、日本で古来より使用されている漆の色をモチーフとした「漆メタリック」で、「地のにぎわい」を表現する5種類の色柄をアクセントに加えています。
- 両先頭車両には、見晴らしのよいパノラマビューを楽しんでいただけるフリースペース「楽 VISTA スポット」、また階下室には靴を脱いでご利用いただける天然木のフローリングとしたフリースペースを設けました。
- シートは華やかな5種類の色柄を使用するとともに、両先頭車両のサロン席と中間車両の座席には天然木の大型テーブルを設置するなど、ご旅行をより一層楽しめる空間としています。



「楽 VISTA スポット」



階下室（フリースペース）



中間車両



先頭車両のサロン席

以上